

オランダ大使館イノベーション・科学技術部とJOIが覚書締結

オランダ大使館イノベーション・科学技術部

電話：03-5776-5510、Email：rob@hollandinnovation.jp

2018年3月、オランダ大使館イノベーション・科学技術部は、JOIと覚書を交わし、日本企業による、イノベーションを含むオランダ向け直接投資促進を目的とした相互協力について合意した。

■世界経済フォーラム (WEF) 国際競争力ランキング

世界137カ国中、総合4位、インフラ3位、健康と初等教育4位、財市場の効率性5位、高等教育と訓練4位、技術成熟度3位、ビジネスの洗練度4位、イノベーション6位 (2017-2018)

■Logistics

オランダは、アムステルダムにあるスキポール空港とロッテルダム港などが戦略的に重要な立地にあり、ヨーロッパのゲートウェイである。



170 million consumers within 300 miles
244 million consumers within 600 miles

■Digital Economy

IoTにおいて、オランダは特に競争力が高い。農業、ヘルスケア、サイバー、ハイテクなど、各分野においてIoT、ICT導入が多く、国際ランキングでも高位を占める (総務省 情報通信経済室)。

■人材

オランダでは90%の人が英語に堪能であり、ドイツ語やフランス語を話せる人の割合も高い。また、教育やトレーニングの水準が高く、IT投資にも積極的であり、

生産性においても競合相手国を上回る。

■世界大学ランキング

QS World University Rankings 2015/16およびTHE World University Rankings 2015/16で100位以内にランクインした欧州主要国と日本の大学数をまとめたところ、英国の多さが顕著であるものの、オランダの大学も相対的に高く評価されていることがわかる。

	QS	THE
英国	19	16
オランダ	5	8
フランス	2	1
ドイツ	4	9
イタリア	0	0
スペイン	0	0
日本	5	2

■日系進出企業

アステラス製薬、キヤノン、デンソー、富士フイルム、日立工機、キッコーマン、丸紅、三菱UFJ、NTT、ヤクルトをはじめとした日系企業はもちろん、多くの多国籍企業が進出

■主要産業

- ・アグリフード：世界第2位の農業食品輸出国
 - ・航空宇宙産業：三菱航空機、ボーイング、ボンバルディア、ロッキードマーティン、GEアビエーション、CAEが進出
 - ・IT：Bluetooth、Wi-Fi、CD、DVDはオランダ企業が発明。フォーブス「世界の有力企業2000社」に選ばれたIT関連企業のうち60%が拠点を置く。
 - ・化学：世界の化学メーカー上位25社のうち19社がオランダで主要な事業を展開
 - ・ハイテク・イノベーション：High Tech Campus EindhovenなどのPPPと最先端の研究開発環境が中心となり、オープンイノベーションを進め、フィリップスやNXP、IBMやインテルなど100以上の企業や研究機関とのコラボレーションを促進
- このほか、エネルギー、ライフサイエンス&ヘルスなどもあげられる。